

# 触媒工業協会 平成25年度表彰式を挙

技術賞1件、功労賞2件 を表彰

触媒工業協会平成25年度表彰式が、平成25年6月5日(水)、学士会館において挙行された。本年度は、技術賞1件、功労賞2件の表彰が行われた。表彰式では、小野会長より受賞者に表彰状が授与され、会場より大きな拍手がおくられた。

本年度の受賞者は次の通り。

## ○技術賞

「ゾーンコートにより反応制御した低貴金属三元触媒」

株式会社 キャタラー

小里 浩隆 殿

松井 優 殿

坂神 新吾 殿

ガソリン自動車の排気ガス浄化用三元触媒は高価で資源リスクの高い貴金属を必須成分としている。今回、もっとも資源リスクの高いRhを45%低減可能とする触媒を開発した。

三元触媒は約1000℃といった非常に高温に曝される。従来、貴金属毎に適したコート塗り重ねることで担持して(積層構造)劣化を抑制し性能向

上を図ってきた。しかし、排ガス流れ方向には均一なコート構成であった。

今回、排ガス流れ方向にHC、NOxといった有害成分の浄化機能を分離するゾーン構成を見出した。具体的には前段側にPdを配置し主にHC成分を浄化し、後段側にRhを配置し主にNOx成分を浄化させる構成である。同時に排ガス流れ方向に貴金属を塗り分けるコート技術を確立することで量産化を実現した。

本技術を織り込んだ三元触媒は、排気エミッションが大幅に低減可能であり、Rh使用量を45%低減可能であることが示された。なお、本開発触媒は2011年からハイブリッドを含むガソリンエンジン搭載車両へ採用されている。

## ○功労賞

株式会社 田中化学研究所

代表取締役社長 田中 保 殿

平成6年1月から理事に就任、平成13年6月に副会長に就任し、平成25年6月まで通算12年にわたり副会長

として当協会の運営を指導され、触媒工業全般の発展に顕著な貢献をされた。

## ○功労賞

元日揮触媒化成株式会社

齋藤 純夫 殿

平成13年4月から平成24年9月まで通算11年半にわたり技術委員会で委員会活動に取組まれた。この間、平成13年7月から平成24年9月まで11年にわたり技術委員長に就任され、NEDO触媒技術アウトカム調査への対応、「触媒の話」の刊行などへの協力など多くの技術関連事項の対応に多大の貢献をされた。

表彰後、功労賞受賞挨拶を、田中保殿、齋藤 純夫 殿よりそれぞれ戴き表彰式を終えた。表彰式終了後、引き続き技術賞受賞記念講演会が開催された。

(技術賞受賞記念講演要旨は4頁参照、功労賞受賞挨拶は5頁参照)



前列左より、受賞者 齋藤殿、小里殿、松井殿、田中殿、  
後列左より 齋藤業務委員長、松久副会長、小野会長、水澤運営委員長



技術賞表彰状授与 左より 小野会長、受賞者 小里殿、松井殿



小里殿による技術賞受賞講演



功労賞表彰状授与 左より 小野会長、田中殿



田中殿による功労賞挨拶



功労賞表彰状授与 左より 小野会長、齋藤殿



齋藤殿による功労賞挨拶